



プロになるまでにどんなことを学んでるの？ 「予防のプロ」歯科衛生士



私たちのお口の健康を担う歯医者さん。なかでも虫歯や歯周病を担う存在といえば歯科衛生士さんです。歯科衛生士さんが就職するまでにどんなことを学んできたかご存知ですか？
国家資格である歯科衛生士になるには知識と技術を何年もかけて習得する必要があります。

歯科衛生士になるまでの流れ

高校卒業

↓
歯科衛生士養成学校で知識や技術を習得

↓
「歯科衛生士国家試験」に合格

歯科衛生士養成学校入学後は？

歯科衛生士の3大業務

1 歯科予防処置

歯石やプラークの除去（スケーリング）、歯のクリーニング（PMTC）、フッ素（フッ化物）塗布など、虫歯や歯周病予防のための処置を行う。

2 歯科診療補助

器具の用意、バキュームの操作、歯型を採るなど、歯科医師の業務をサポートする。

3 歯科保健指導

患者さんへの歯みがき指導や食生活指導、虫歯や歯周病の仕組みの説明などをする。

講義で習うこと

「全身の健康について」

解剖学
組織発生学
薬理学
生理学
微生物学
栄養代謝学
衛生・公衆衛生学 など

「歯科の専門分野について」

口腔解剖学
口腔衛生学
口腔外科学
小児歯科学
歯科放射線学
歯科補綴学
歯科麻酔・全身管理学
歯周病学
矯正歯科学
高齢者歯科学
障害者歯科学
歯科審美学
言語発達・摂食嚥下学

歯科衛生士概論
看護概論
地域保健活動論
チーム歯科医療論
介護技術論 など

月

日

曜日

日直



実習で学ぶこと

模型実習・・・模型を使った実習。スケーラーやミラー、プローブやバキュームなどの器具の使い方を学ぶ
相互実習・・・実際に人を対象とする実習。学生同士で患者役、歯科衛生士役になり歯石やプラークの除去、歯のクリーニング、お口の中の写真撮影やフッ素塗布、歯型採りなどをする。

臨床・臨地実習・・・提携する歯科医院などで、歯科医師や歯科衛生士の補助をする。実際の臨床を経験しながら、患者対応や、医療者間でのコミュニケーションの仕方を身に付けていく。

3年目には介護実習、国家試験へ向けての猛勉強を経て歯科衛生士国家試験に合格し、「予防のプロ、歯科衛生士」となるのです。

この様に、たくさんの知識と技術を身に付けてきた歯科衛生士によるプロフェッショナルケアをぜひ定期的に受け、健康で輝く歯を保ちましょう！